

入善町海岸林の植樹活動に参加しました。

令和3年11月5日(金)、入善町下飯野地区と入善町役場が主催する園家山の植樹活動に参加しました。

園家山は、黒部川河口の海岸に位置する広大な田んぼの中に、ポツンと独立した県内で最も低い山です。

山頂には、国土地理院の一等三角点が設置され、周囲はクロマツ林が広がる風光明媚な場所です。

近年、マツクイムシの被害を受け、クロマツ林が減少していることから、今回、一等三角点周辺に抵抗性クロマツを200本植樹することになりました。

植樹活動には、地元自治会の住民約40人、町議会議員、森林組合職員、町や県の職員など総勢約50人が参加しました。

住民の方々がスコップを使い、丁寧に一本一本植樹している姿を見て、当地のクロマツ林が親しまれていると感じました。

入善町では、園家山や周辺の海岸林の公益性(飛砂や潮害の防備等)の維持・向上と景観の保全に力を入れており、今後も抵抗性クロマツの植樹やマツクイムシ被害の拡大防止を進めて行く予定です。

今回植栽した苗木が順調に育ち、クロマツ林が保全されることを願っています。

森林組合による抵抗性クロマツ植樹説明



スコップでの植穴掘り



丁寧に抵抗性クロマツを植える



植樹完了

